トリエンナーレ／ミュージアムエデュケーション／Triennale School

トリエンナーレ
スクール
Triennale School

第4回　2015.1.31（土）

『ブラジルの想像力―往還する旅人たち』

ゲスト｜今福龍太（文化人類学者、批評家）

第5回　2015.2.28（土）

『日常へのまなざし 考現学に学ぶアートな視点』

ゲスト｜岡本信也（考現学採集、野外活動研究会代表）

第6回　2015.3.21（土）

『学校では学べない！オルタナティブな場での創造性』

ゲスト｜会田大也（ミュージアムエデュケーター／東京大学大学院 GCL-GDWS 特任助教）

会　場｜名古屋市美術館2階講堂（第4回）定員180名
愛知芸術文化センター12階アートスペースE・F（第5回、第6回）定員60名

日　時｜各回ともに14：00－15：30

参加費｜無料（申込不要）
当日は開始時刻の30分前から受付を開始し、整理券を配布します。
なお、受付は先着順で行い、定員に達した場合は、入場をお断りすることがございます。

主催｜あいちトリエンナーレ実行委員会

共催｜名古屋市美術館

トリエンナーレ スクール
Triennale School

トリエンナーレスクールは、2016年に開催するあいちトリエンナーレに向けて、現代アートを楽しみながら学んでいただくレクチャーシリーズ。第一線で活躍するアーティストや専門家をゲストに迎え、あいちトリエンナーレ2016のテーマ「虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅」を体感していただけるプログラムで構成しています。

第4回 ブラジルの想像力 ― 往還する旅人たち

ゲスト｜**今福龍太**（文化人類学者、批評家）

ブラジルは不思議な土地です。放浪の旅人たちがそこで歩みを止め、世界を再発見し、自己の深い真実に目覚めていきました。そこから特異な詩が、写真が、美術が、音楽が現われました。ブラジルの想像力が魅力的なアートを生み出していった軌跡を語ります。

2015.1.31（土）14:00－15:30
名古屋市美術館2階 講堂
定員 180名

今福龍太
IMAFUKU Ryuta

1955年東京都生まれ。1982年よりメキシコ、キューバ、ブラジルで人類学調査に従事。中部大学教授、札幌大学教授を経て、2005年から東京外国語大学大学院教授。カリフォルニア大学サンタクルーズ校、ブラジル・サンパウロ大学などで客員教授を歴任。群島に新たな学びの場を求め、2002年より巡礼型の野外学舎「奄美自由大学」を主宰。著書に、『クレオール主義』『群島-世界論』『レヴィ=ストロース 夜と音楽』『ブラジルのホモ・ルーデンス』『書物変身譚』など多数。

第5回 日常へのまなざし 考現学に学ぶアートな視点

ゲスト｜**岡本信也**
（考現学採集、野外活動研究会代表）

考現学は、現代都市を巡り、人々の生活や風俗を見て歩くフィールドワーク。今回は、日常のありふれた事物を観察し、記録する手法を学びます。考現学の視点は、日常にさまざまな発見を促します。

2015.2.28（土）14:00－15:30
愛知芸術文化センター 12階 アートスペースE・F
定員 60名

岡本信也
OKAMOTO Shinya

1940年名古屋市生まれ。雑誌編集者を経て、1984年よりフリー。1974年から各地をフィールドワークし、「街の考現学」などの新聞連載を多数執筆する。現代風俗研究会会員。元・日本生活学会会員。名古屋市にあるフィールドワークの民間研究グループ「野外活動研究会」の活動を40年間にわたって続ける。妻である岡本靖子との共著『超日常観察記』で、第15回日本雑学大賞、第5回橋本峰雄賞を受賞。

第6回 学校では学べない! オルタナティブな場での創造性

ゲスト｜**会田大也**（ミュージアムエデュケーター／東京大学大学院 GCL-GDWS 特任助教）
進行役｜**服部浩之**（あいちトリエンナーレ2016キュレーター）

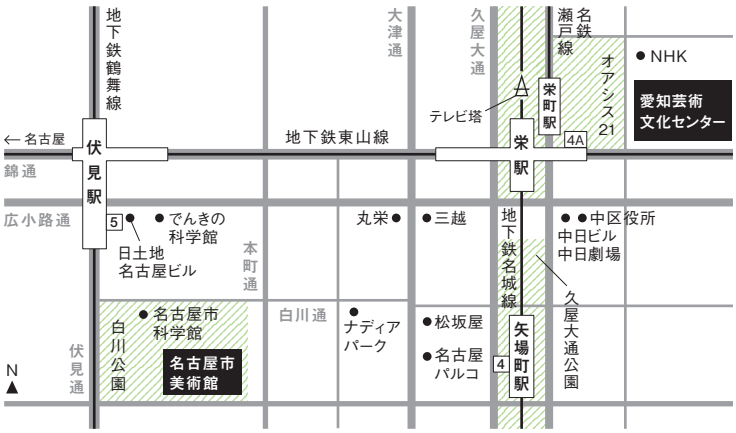
山口情報芸術センター開館当初より携わってきた、オリジナルワークショップはどのようにして生まれたのか? その開発と実践について紹介。また、自身の住居スペースで展開したMaemachi Art Centerの活動についても語ります。

2015.3.21（土）14:00－15:30
愛知芸術文化センター 12階 アートスペースE・F
定員 60名

会田大也
AIDA Daiya

1976年東京都生まれ。東京造形大学造形学部デザイン学科造形計画専攻、IAMAS（情報科学芸術大学院大学）卒業。2003年から2014年まで、山口情報芸術センターの教育普及担当として、オリジナルワークショップや教育普及プログラムの開発を行う。担当ワークショップ「山口情報芸術センター メディアワークショップの実践」は第6回キッズデザイン賞大賞受賞。担当企画展示「コロガルパビリオン」が第17回文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品受賞、一連の「コロガル公園」シリーズが2014年度グッドデザイン賞を受賞。

参加費｜無料（申込不要） 当日は開始時刻の30分前から受付を開始し、整理券を配布します。なお、受付は先着順で行い、定員に達した場合は、入場をお断りすることがございます。



｜アクセス｜

■ **愛知芸術文化センター**｜名古屋市東区東桜1-13-2
○東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分
○名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、徒歩2分（オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由）

■ **名古屋市美術館**｜名古屋市中区栄2-17-25（芸術と科学の杜・白川公園内）
○地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車、5番出口から南へ徒歩8分
○地下鉄名城線「矢場町」下車、4番出口から西へ徒歩10分

｜問い合わせ先｜あいちトリエンナーレ実行委員会事務局
〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター 6階
TEL：052-971-6127 FAX：052-971-6115 **http://aichitriennale.jp/**

｜イベント情報｜
あいちトリエンナーレ地域展開事業
豊穣なるもの ― 現代美術 in 豊川 Fruitfulnss -Contemporary Art in Toyokawa-

本展は、2015年1月にリニューアルオープンする豊川市桜ヶ丘ミュージアムとまちなかの空きビルや古民家を会場とした現代美術展です。
豊川の街を散策しながら、街とアートの魅力をお楽しみいただけます。

会期｜2015年1月17日（土）～2月22日（日）
会場｜豊川市桜ヶ丘ミュージアム、豊川信用金庫旧いなり支店、古民家
主催｜あいちトリエンナーレ地域展開事業実行委員会、豊川市

問い合わせ先｜あいちトリエンナーレ地域展開事業実行委員会事務局
TEL：052-954-6183（ダイヤルイン）
あいちアートプログラムURL：http://aichi-art.com/

来春には、従来のトリエンナーレスクールに加えて「トリエンナーレスクール+（プラス）」が登場予定。少人数を対象とした講座で、ワークショップやフィールドワーク、グループディスカッションにより、参加者が主役となる学びの場を目指します。

あいちトリエンナーレは
3年ごとに開催する国際芸術祭です。

あいちトリエンナーレ2016
芸術監督：港 千尋
テーマ：虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅
会期：2016年 夏～秋（予定）

虹のキャラヴァンサライ
あいちトリエンナーレ2016